



高崎山通信



2024. 秋号

サルたちの秋 (自然の食べ物と園内の餌)



タブの実

タブの実は、1センチくらいの丸い実で、熟す前は緑色、熟すと黒色に変わります。

高崎山の山中には、タブノキが多くあり、サルたちは、夏の間その実を好んで食べています。

秋になると、ドングリを食べるようになります。サルの顎の下には食べ物をため込むことができるホホ袋があり、その部分にたくさんのドングリをため込んで

山から下りてきます。パンパンに膨らんだホホ袋からドングリの殻を上手に出して食べる様子を、この時季はよく見かけます。

サル寄せ場では、毎日30分ごとに餌を与えていますが、秋は山の中にある木の实などでお腹が満たされるため、サル寄せ場に現れない日もあります。

豊富な餌に恵まれ、気温も下がり過ごしやすい秋は、サルにとって最も良い季節のようです。



ホホ袋



小麦



サツマイモ

ヤケイとヤケイの娘たち

通常、群れの第1位は在籍期間が最も長いオスザルになるため、メスザルが群れの第1位になることはありません。しかし、ヤケイ(メス)は2021年の3月、当時B群「メスザル1位」であった母ビケイを襲い、その座を奪い、さらに、群れの高順位のオスザルたちに次々と勝負を挑むようになりました。6月には、当時B群第1位であったナンチュウ(第17代)をも自らの力でねじ伏せ、その翌月、正式に高崎山史上初めてメスザルがB群第1位(第18代)に就任しました。

しかし、2023年5月にB群の第1位がオスザルのゴローに変わり、ヤケイはトップの座を退きました。

その後もヤケイを第2位に組み入れることはなく、「メスザル1位」として取り扱っています。現在、B群第1位(第20代)のオオムギ以外のオスザルたちは、ヤケイが近くを通ると避けたり、エサを拾っている所にヤケイが近づくと場所を譲ったり、ヤケイに対して気を遣う行動を見せています。このような行動から、実際は群れの中で第2位の権力を持っていることが伺えます。さらに、オオムギは現在23才(人間の年齢でおよそ70才)で高齢に加えて体力の低下もあることから、過去にナンチュウを襲った時のように、ヤケイ(12才・人間の年齢でおよそ30才半ば)が第1位に返り咲く可能性も十分考えられます。

ヤケイは2017年にオスザル、2019年と2023年にメスザルを出産しています。昨年生まれた2頭目の娘が今年1才を迎えて、自分の力でエサを拾うことができるようになり、同じ頃に生まれた子ザルと遊ぶ姿をよく見かけられるようになりました。また、最近頭角を現してきているのが、2019年に生まれた娘です。餌付けの際に近くにいるサルに咬みついたり、上位オスザルのように、しっぽを上げて歩いたり、木の上で木ゆすりをしたりと激しい行動が目立つようになりまし



2019年生まれの娘



ヤケイと2023年生まれの娘

た。ヤケイは今後も「高崎山史上最恐女子」として目立つ存在となるのか、さらに、子ども達も強い権力の元でどのように成長していくのか、これからもヤケイの一族に注目していきます。



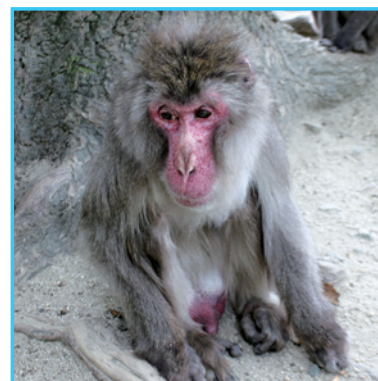
(2001年10月撮影)

B群「ハジメ」

高崎山最年長ザル「ハジメ」(推定38才、人間の年齢でおよそ120才)が、2024年6月10日以降サル寄せ場に姿を見せなくなりました。

ハジメは、1998年11月、C群第9位に初めてランクインしました。

2001年10月メンバーズ会報第24号に「保父さん登場」の記事が掲載されています。当時、C群第6位となっていたハジメは、赤ちゃんザルの面倒をよくみていました。この頃から、ハジメのキャラクターが注目されはじめました。怒ると、オスザル独特の「ゴッゴッ!」という唸り声ではなく「キャキャー!」と声を上げ、手で地面の砂を撒き散らすといった個性的な癖があったことが未だに印象に残っています。



(2024年6月8日撮影)

2010年C群第4位となったハジメは、B群との間で二重生活を送っていましたが、その年の12月21日当時のB群第1位「タイガー」にマウンティングされ、ついにB群の一員として認められ、2013年2月、B群第7位にランクインしています。

2021年4月15日、B群第4位になっていたハジメ(推定35才)は、ヤケイから攻撃を受け、その地位を失いました。体力も衰え、ハジメには厳しい夏となりました。

しかし、恋愛シーズン(11月から3月頃)になると、曲がった腰が伸び、しっぽを上げて歩いていました。食欲も増し、姿勢や顔艶も良く長生きの秘訣は恋愛ではないかと思うほど元気に見えました。努力が報われて、若いメスザルとカップルになった姿に驚かされたことが思い出されます。

2023年1月に放送されたTBS系列番組「サンドウィッチマンのZoo1グランプリ」では、サルの恋愛リアリティーショー「モンキーラブ」で、ハジメの恋愛が注目を集めました。

2024年、若手の台頭もあり、ハジメは群れの順位から外れてしまいました。また、老化の進行から、5月に測った体重は、若い頃の半分かくらいまでに減少していました。体は痩せ細っていましたが、連日、山から元気に下りてくる姿は私たちに勇気と感動を与えてくれました。

ありがとう「ハジメ」。どこかで元気に過ごしていることを祈っています。

(当園では、1ヵ月ほど様子を見て山から出現しなかった場合、群れの離脱、もしくは亡くなったと判断しています。)

いせの強いサル紹介



B群「チャガシ」

2024年7月に産んだオスザルの右手をいつも咥えている。



B群「マルオ」

柵の上に座っている時の格好が丸い。唯一近くで写真を撮ることができる、稀にみる大人しいサル。



C群「ネウタ」

自分で自分のお乳を吸う。究極の自給自足ザル。



2024 無料の日 イベント

11月16日(土)、高崎山自然動物園は入園無料の日です。
イベントのスケジュール等はHPをご確認下さい。

当日は、フォトフレーム争奪じゃんけん大会や高崎山キャラクターとの写真撮影会、たかもんガールズPEAKLによる歌やダンスと〇×クイズ大会など、楽しいイベントが盛りだくさん! みなさま、ぜひお越しください。

※駐車場料金・モノレール料金は、有料となります。

スタッフブログ、フェイスブック、Instagram、YouTubeで
高崎山自然動物園のサルの出来事を紹介しています。



たかもん



〒870-0802 大分市神崎3098-1
TEL 097-532-5010 FAX 097-536-2500
E-mail info@takasakiyama.jp
http://www.takasakiyama.jp/

大分市内の小学生・中学生は**入園無料**です。学生証などを見せて入園してください。